

(社)徳島県労働者福祉協議会

中央LSCニュース

発行 徳島中央ライフサポートセンター

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

TEL・FAX 088-623-4105

E-mail chuou-lifeh@utopia.ocn.ne.jp<http://www1.ocn.ne.jp/~chuou-lf/>

徳島中央ライフサポートセンター第1回理事会報告

去る2010年9月24日(金)、「かんぼの宿 徳島」において徳島中央ライフサポートセンター第1回理事会を開催致しました。

また、9月24日(金)から25日(土)の2日間にわたり、今年3月28日に徳島中央ライフサポートセンターと同時に設立された中央地域協議会と合同で交流会、環境学習会及び眉山遍路道清掃活動を実施しました。

【活動内容】

①環境学習会

- ・「地域の文化遺産 八十八箇所遍路道を守ろう!・遍路道6年間の美化活動より見えてきたことは」
- ・講師 NPO法人「徳島共生塾一歩会」理事長 新開善二氏
- ・参加者 28名

②清掃活動

- ・眉山遍路道及び自動車道周辺(4ヶ所)
- ・回収量 50袋(90Lサイズゴミ袋)、タイヤ、テレビ、建築用波板、その他
- ・参加者 32名

③「いま『協同』を拓く2010全国集会in四国」の参加要請(11月13日(土)~14日(日)高松市)

- ・各地区協及びライフサポートセンター構成組織から20名を目標に参加することを確認。

④みかん狩り、ミニ運動会、バーベキューについて(11月3日(水))

・星谷運動公園(勝浦町)において、中央地協構成組織及びライフサポートセンター構成組織の役員・家族、その他参加希望者により実施することを確認。

⑤(財)徳島県勤労者福祉ネットワークとの共催事業

- ・健康ウォーク 10月31日(日) 大神子海岸
- ・健康フェア 12月18日(土)予定 アスティ徳島

⑥エコキャップ運動の取り組みについて

⑦その他

「ゆとり宣言」フェスティバル 2010 実行委員、ライフサポート事業の状況報告など

今後も学習会、清掃活動などを引き続き実施したいと考えております。また、できる限り徳島中央ライフサポートセンター、中央地域協議会が連携して地域に根ざした活動・取り組みを展開して参ります。



ペットボトルのキャップで世界の子供にワクチンを届けよう

中央地協・ライフサポートセンターはエコキャップ運動に取り組みます!

小さなキャップを通して未来の地域環境のことを考えたり、子どもの命のことを考えたり、そして限られた資源を有効に活用することなどを考え、さまざまな人たちが参加しながら組織や世代間、そして地域の絆が深まっていけば本当に素晴らしい活動になると思っています。

①エコキャップ収集活動は、清涼飲料水のキャップのみ回収対象としております。インスタートコーヒー等の大きいキャップや醤油、ソース等のキャップは回収対象になりません。

②衛生管理上、一度洗って汚れをとり、泥やその他のゴミは取り除いてきれいな状態にしてからお持ちください。(きれいな状態のキャップは買取価値も高くなります。)

③袋を小分けのままにせず、なるべく大きい袋の一つにまとめて徳島中央ライフサポートセンターまでお持ち下さい。



眉山遍路道清掃活動に参加して(藤原有城)
「お遍路さんが気持ちよく歩けるために」
～八十八ヶ所遍路道を世界遺産に～

2010年9月25日(土)、連合徳島中央地域協議会・徳島中央ライフサポートセンター合同で遍路道清掃活動を行いました。残暑の中、32名がA・B・C・D4つの班に分かれ、ゴム手袋、長靴姿でゴミ袋を持ち、ガードレール外側にある山肌の急傾斜に立ち入りました。立つことが精一杯の中、弁当箱・空き缶などのゴミを一生懸命拾いました。拾っても、拾ってもきりがなく、掘れば掘るほどゴミが出てくる現状にとっても悲しい気持ちになりました。

そして、奥に進めば進むほどタイヤ・テレビ・ソファとゴミの大きさも大きくなり、男性が数人がかりでどうにか路上に運び出すことができました。2時間が経過し、90Lサイズの大きなゴミ袋を整理しながら『捨てるのは簡単でも、拾うのは本当に大変だなあ』と痛感しました。最終的に布団、建築用波板などゴミ袋に入りきらないものを除いても、ゴミ袋は50袋に達しました。『徳島県にこんなにゴミを捨てる人がいるとは。このままではいけない』

と改めて思いました。

大勢の人々が遍路道の清掃活動に参加するようになり、また、私たちが苦勞をしてゴミを拾っている姿を目にすれば、ゴミを捨てる人は少なくなるのではないのでしょうか。今回の清掃活動に参加し、このように感じた方はたくさんいると思います。今後もこの活動を末永く続けていきたいと切に願っています。



環境学習会報告(中山まき)
「地域の文化遺産 八十八ヶ所遍路道を守ろう！」
～遍路道6年間の美化活動より見えてきたことは～

9月25日(土)、「かんぽの宿 徳島」において、連合徳島中央地域協議会・徳島中央ライフサポートセンター合同の環境学習会を開催しました。

講師は、NPO法人「徳島共生塾一歩会」理事長 新開善二氏で、新開氏は四国八十八ヶ所遍路道の美化推進活動を6年間にわたって取り組み、環境分野の権威ある団体から数々の賞を授与されています。今までに十数ヶ所の遍路道で約470トンのゴミを回収し、延2,200人がこの活動に参加しました。

新開氏は恒例の阿波踊りゴミゼロ大作戦の活動もさ

れており、印象はとても元気な高齢者(失礼!)です。

講演は、テンションが高く、話のスピードが早く、新開氏のパワーとお話の面白さに圧倒され、だれもが聞き入っていました。話し振りは説得力があり、眉山の遍路道という地域の文化遺産ともいべき場所が、あんなに汚れているのは徳島の恥だという意識が強く感じられました。しかも、愛媛・高知・香川はゴミが落ちていないのに徳島は他の3県に比べて非常にマナーが悪く、とても恥ずかしいことだとも言われました。

折角、八十八ヶ所遍路道という全国にも自慢できるものがあり、また、お接待の心は地元の人に根付いているのに、ゴミマナーの心は根付いていないことが残念だと思いました。

以前、菅首相が遍路道を歩かれましたが、八十八ヶ所の歩き遍路をする人の目的は様々だと思います。もしかしたら、愛する人を亡くして霊を慰めるために、また自分を見つめ直すために歩く人もいるかもしれません。そのような人々がゴミの道を見たら何とと思うでしょうか。私たちも新開理事長をはじめとする一歩会の方々の志・意識を受け継ぎ、遍路道清掃活動や阿波踊りゴミゼロ大作戦に積極的に取り組んでいきたいと強く思いました。



■暮らしなんでも無料相談■

専門のアドバイザーと連携して、あなたの暮らしを応援します！
ひとりで悩まないで、一緒に解決の糸口を見つけましょう！

◇法律相談 ◇一般相談 ◇金融・保険相談 ◇労働相談 など